

「いつでも、どこでも、だれでもが、がんの情報を得られる地域づくりをめざして」

■開催日時

開催日：2016年01月25日（月）

開催時間：13:00～17:00（開場 12:30）（情報交換会 17:00～18:00）

■会場

福岡県立図書館（〒812-8651 福岡市東区箱崎 1-41-12）

■当日プログラム

図書館とがん相談支援センターの連携プロジェクトについて

高山智子（国立がん研究センター）

公共図書館からみたがん相談支援センターとの連携の意義

田村俊作（慶應義塾大学名誉教授）

図書館（室）と相談支援の連携の事例報告

事例報告1：愛媛大学医学部附属病院 患者図書室

塩見美幸（がん看護専門看護師、がん専門相談員）

事例報告2：長崎市立図書館

下田富美子（司書）

事例報告3：埼玉県立久喜図書館

小西美穂（司書主幹）

「連携のための関係づくり」

萬谷和広（大阪南医療センターがん相談支援センター社会福祉士、がん専門相談員）

グループディスカッション

「各病院／地域での連携の可能性を考える」

■参加者

公共図書館の医療・健康情報に関心を持つ司書および行政関係者、病院内の患者図書室の関係者、がん診療連携拠点病院等のがん専門相談員、相談支援に関わる医療関係者など

【主催】国立がん研究センターがん研究開発費「がん情報の収集と効果的な活用、そして評価の在り方に関する研究」、科学研究費助成事業「市民の健康支援のための価値互酬型サービスを支える知識共同体の構築」、福岡県立図書館

【協力】科学技術コミュニケーション推進事業機関連携推進ネットワーク形成型「継続的なワークショップ運営による情報弱者向けがん情報ツールの作成と普及」事業班

【後援】NPO 医療の質に関する研究会、福岡県がん診療連携協議会、福岡県公共図書館等協議会、日本図書館協会